

令和4年(ワ)第31814号 懲罰取消等請求事件












原告 八木橋健太郎

被告 国

証拠説明書

令和6年3月8日

東京地方裁判所民事第3部A1イc係 御中

被告指定代理人	原	康	展	
	野	澤	雅	
	古	瀧	孝	 代
	五十	嵐	雅	 代
	内	城		 代
	川	合	由佳理	 代
	柴	田	和	 代
	難	波	祥	 代
	関		俊	 代
	田	代	伸	 代
	鈴	木	くる	 代

略称は、答弁書等の例による。

号証	標 目 (作 成 者)	作 成 年 月 日	立 証 趣 旨
乙53	平成27年12月22地裁 判決	写し	刑事施設における被収容者に対する医療上の措置は、刑事施設の責任及び費用負担により行われるものであり、被収容者については拘禁の性質上医療に関する自己決定権も制約されていることに照らすと、刑事施設においては、患者である被収容者が望むとおりの医療行為が必ず実施されることまで保障されているわけではないこと